

横畑知己教授退任記念号の発刊に寄せて

2024年3月にて定年でご退職されました横畑知己先生の本学での長年にわたるご貢献をたたえ、感謝の気持ちを表すために、本記念号が企画されました。以下に横畑先生のご経歴と本学での活躍の一端を紹介させていただき、これまでの貢献に感謝の意を申し述べたいと思います。

横畑先生は、東京教育大学教育学部をご卒業後、東京大学教育学研究科の修士課程、博士課程に進まれ、教育学の研究者の道を歩まれました。1991年4月、本学経済学部講師に着任され、1994年4月に助教授に昇任された後、2022年4月には全学共通教育センター教授となりました。2024年4月には、33年の長きにわたる本学での活躍に敬意を表し、名誉教授の称号を贈らせていただきました。

横畑先生のご専門は教育学で、主に、歴史教育、道德教育、教育思想についての歴史を論じる研究を進めてこられました。この研究成果を活かす形で、「教育史」をはじめとする教職課程科目の講義・実習を担当され、多くの教育者を養成されました。「総合教育演習」では、主に現代史について、「教育」だけでなく、さまざまな視点から論じるゼミを展開されました。

また、横畑先生は、学内行政においても様々な委員・役職を歴任されました。特に、教職課程に関する様々な委員を務められ、長きにわたって教職課程の運営にご尽力されました。それだけでなく、1996、1997年度は出題委員長を務められ、2014、2015年度は全学共通教育センター長を務められました。

私は、横畑先生が全学共通教育センター長であった2015年度に、全学共通教育センターの教務主任を務めさせていただきました。若輩者の私は至らぬ点が多く、センター長であった横畑先生には、様々な場面で多くのご指導をしていただき、感謝してもしきれないものがあります。最後になりますが、横畑先生のご健勝と研究のますますのご発展を祈念いたします。

全学共通教育センター長 榎 基宏